

ごみ処理の基本理念(案)について

**ひと・もの・自然 めぐり、はぐくみ、つなげるまち**

～ 3R 目指す先に 未来の環境～

意図:加古川市総合計画(R2.12月議決)のまちづくりの基本理念「ひと・まち・自然を大切にし ともにささえ はぐくむまちづくり」を踏まえたうえで、ごみ・資源物についての計画であることから「まち」を「もの」に変更し、基本方針1として掲げる「循環型社会の推進」の循環を「めぐり」に言い換えて使っています。

また、第2回の審議会でいただいた「やさしい言葉」として「ひと・もの・自然」は残し、「伝わるまち」としていたところを、より能動的に「つなげるまち」と変更しています。

副題には基本方針1の①に掲げる「3R の推進」による未来の環境像を示しています。なお、「未来の環境」という表現は、環境基本計画(R3.3月)の環境像の副題で「～いきいきと成長できる未来の環境へ～」として使っています。

**めぐ  
ものが環り しぜんを育み ひとで繋がる 加古川市**

～循環型社会の構築で未来の環境を～

意図:加古川市総合計画(R2.12月議決)のまちづくりの基本理念「ひと・まち・自然を大切にし ともにささえ はぐくむまちづくり」を踏まえたうえで、ごみ・資源物についての計画であることから「まち」を「もの」に変更しています。

3R で「もの」が循環する社会にすると、環境への負担を軽減することに繋がり自然を豊かにします。それらを実行するのは市民であり事業者といった「ひと」になります。行政も含めたそれらの「ひと」が繋がって協働する加古川市をイメージしています。

副題の「未来の環境」という表現は、環境基本計画(R3.3月)の環境像の副題で「～いきいきと成長できる未来の環境へ～」として使っていますが、現在の循環型社会が理想とする未来に繋がっていくことをイメージしています。